



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第453号

2020年4月27日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

市民の暮らしと安全を守る市独自の支援策を

新型コロナウイルスの感染拡大による影響は、個人だけでなく市内業者にも大きく及ぼし、暮らしと営業への不安は一層広がっています。日本共産党市議団は、4月21日コロナ問題で3回目の申し入れを服部市長に行い、以下7項目にわたり緊急要望を申し入れました。特に、千葉市をはじめ他市で行っている市独自の支援策を進め、そのための財源提案も示し、さらに市内業者の売り上げや家賃の確保に困っている現状など訴えました。市長からは、「ドライブスルー方式のPCR検査の実現の見通し、今後も市民の声を直接反映してほしい」との発言がありました。

要望内容

1. 医療崩壊を防ぐためにも医師会と連携してドライブスルー方式等によるPCR検査の実施を早急に対応できるよう再度県へ強く要望して下さい。
2. 新型コロナウイルスの感染拡大による経営・生活支援緊急相談窓口の拡大と国や県からの公的情報を迅速に公表して下さい。
 - ・個人のくらしの相談や事業者の相談などの窓口を広げること。
 - ・社会福祉協議会の電話相談も相談が殺到しています。職員支援を行うこと。
 - ・インターネットを利用できない高齢者や市民にも情報が届くように徹底すること。
3. 休業補償へ市の独自支援を進めて下さい。
 - ・県内では市川市が住民税に相当する支援、中小業者・個人事業主への給付金の支援を発表しました。その財源は野球場の整備見直しなどを行うとしています。八千代市も庁舎整備基金や財政調整基金などを活用して検討を進めること。
4. 国保・介護・後期高齢者医療への対策強化を進めて下さい。
 - ・自粛要請などにより収入が著しく減少した被保険者について、国民健康保険法第77条及び高齢者の医療確保に関する法律第111条並びに介護保険法第142条に定める「特別な理由のある者」とみなし、保険料の徴収猶予や減免措置をも可能とすること。
 - ・新型コロナウイルスの感染、または自宅療養を行った場合に、国民健康保険・後期高齢者医療保険の傷病手当の取り扱いが行えるようにすること。
 - ・確実に実施できるように国や県から財政支援の拡充を求めること。
5. 保育園・学童保育の登園自粛に伴い自宅にて保育している家庭について保育料の返還をして下さい。
 - ・4月は休園要請を行っているため日割りではなく1ヶ月分の返還を行うこと。
 - ・日割りについては3月に遡って返還すること。
6. 就学援助助成金の支給は5月以降の申請でも今年に限り、4月に遡って対応すること。
7. 市内事業者への融資の促進と雇用調整助成金の活用・申請の手助けをして下さい。
 - ・制度の周知徹底により市内業者やそこで働く方々への支援を広げること。
 - ・雇用調整助成金の国負担を10分の10にするように求めること。